



参天製薬株式会社

2010年度 決算説明会

2010年度 連結業績概要

2011年度 連結業績予想

2011年5月11日

代表取締役社長兼CEO

黒川 明



2010年度 連結業績概要



2010年度 決算概況

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度 実績	対前年 同期 増減率	2010年度 通期 業績予想*	対予想 進捗率
売上高	1,105.9	1,108.1	+0.2%	1,085.0	102.1%
営業利益	296.4	307.3	+3.7%	263.0	116.9%
経常利益	298.6	314.8	+5.4%	270.0	116.6%
当期純利益	187.2	213.3	+13.9%	175.0	121.9%

*業績予想: 2010年11月4日付

2010年度実績のポイント

売上高

■ 国内：緑内障、角膜疾患において伸長

- 緑内障： 新製品タプロス・コソプトが順調に浸透
- 角膜疾患： 主力品ヒアレインが堅調に推移
新製品ジクアスの順調な立ち上がり

◆ 海外：欧州・中国事業が伸長

- 欧州： タフルプロストが順調に浸透
- 中国： 市場拡大機会を取り込み順調に増収
- その他： 技術導出契約に関連する一時金収入等の寄与

営業利益

- 売上原価： 一時金収入の影響を除いた原価率の低下
- 販売費： 適正な経理管理による費用圧縮
- 研究開発費： 一部、プロジェクトの遅延等による予算未消化



2010年度

売上高の増減要因(対前年同期比較)

**2009年度
実績売上高
1,105.9億円**

+2.1億円



**2010年度
実績売上高
1,108.1億円**

国内:+ 29.6億円

- + 医療用眼科薬 + 29.1億円
- + 抗リウマチ薬 ▲ 0.4億円
- + 一般用医薬 ▲ 5.1億円
- + 医療用機器 + 5.2億円
- + その他 + 0.8億円

海外:▲ 27.4億円

- + 北米 ▲ 36.4億円
 - (うち為替 ▲ 1.6億円)
- + 欧州 ▲ 1.9億円
 - (うち為替 ▲ 13.1億円)
- + アジア + 10.9億円
 - うち中国 + 8.7億円
 - (うち為替 ▲ 2.1億円)
 - うち韓国 + 2.6億円
 - (うち為替 ▲ 0.0億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 0.4億円
- + 角膜 + 4.0億円
 - うちジクアス + 7.4億円
- + 緑内障 + 25.3億円
 - うちタプロス + 18.9億円
 - うちコンプト + 29.3億円
- + アレルギー + 6.3億円
- + その他 ▲ 6.1億円

欧州

- + 医療用眼科薬 + 0.8億円
 - うち西欧 + 0.8億円
 - うち東欧 ▲ 0.0億円
 - うち北欧 + 1.3億円
 - うちロシア ▲ 1.2億円

<為替レート>	2009年度 実績	2010年度 実績
US\$	92.79円	85.57円
Euro	131.12円	113.45円
元	13.70円	12.94円

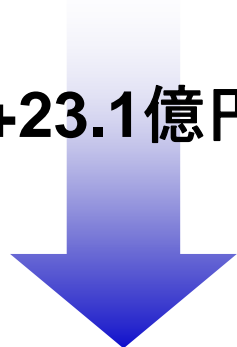


2010年度

売上高の増減要因(対業績予想比較)

**2010年度
予想売上高***
1,085.0億円

+23.1億円



**2010年度
実績売上高**
1,108.1億円

国内:+ 17.9億円

- + 医療用眼科薬 +29.8億円
- + 抗リウマチ薬 +0.9億円
- + 一般用医薬 ▲6.4億円
- + 医療用機器 ▲4.6億円
- + その他 ▲1.7億円

海外:+ 5.1億円

- + 北米 +14.6億円
(うち為替 ▲1.0億円)
- + 欧州 ▲8.0億円
(うち為替 ▲8.5億円)
- + アジア ▲1.4億円
うち中国 ▲3.6億円
(うち為替 ▲1.0億円)
うち韓国 +2.1億円
(うち為替 ▲0.4億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 + 4.8億円
- + 角膜 + 8.5億円
うちジクアス + 1.7億円
- + 緑内障 + 0.5億円
うちタプロス ▲ 9.5億円
うちコソプト + 7.9億円
- + アレルギー + 9.8億円
- + その他 + 6.0億円

欧州

- + 医療用眼科薬 ▲ 8.4億円
うち西欧 ▲ 5.0億円
うち東欧 ▲ 3.7億円
うち北欧 + 1.5億円
うちロシア ▲ 1.2億円

<為替レート>	2010年度 予算	2010年度 実績
US\$	90.00円	85.57円
Euro	125.00円	113.45円
元	13.30円	12.94円

*業績予想: 2010年11月4日付

損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

単位: 億円	2009年度 実績	2010年度		主な差異要因
		実績	差異	
売上高	1,105.9	1,108.1	+ 2.1	
売上原価 (対売上高比率)	347.1 31.4%	344.3 31.1%	▲ 2.7 ▲0.3ppt	
研究開発費除く販売費 (対売上高比率)	321.2 29.0%	324.1 29.3%	+ 2.9 +0.2ppt	・国内販売直接費+0.0億円 ・欧米事業▲1.1億円(うち為替の影響▲6.9億円) ・アジア事業 +2.0億円
研究開発費 (対売上高比率)	141.2 12.8%	132.2 11.9%	▲ 9.0 ▲ 0.8ppt	・うち為替レートの影響▲3.6億円
営業利益 (対売上高比率)	296.4 26.8%	307.3 27.7%	+ 10.9 +0.9ppt	
営業外収益	8.4	10.1	+ 1.6	・受取配当金 +0.8億円、受取利息 +0.3億円等
営業外費用	6.2	2.6	▲ 3.5	・為替差損▲2.6億円、持分法投資損失▲1.0億円等
経常利益	298.6	314.8	+ 16.2	
特別利益	0.7	0.1	▲ 0.5	
特別損失	13.2	4.2	▲ 9.0	
税金等調整前当期純利益	286.1	310.7	+ 24.6	
法人税等	98.8	97.4	▲ 1.4	
当期純利益	187.2	213.3	+ 26.1	

<為替レート>	2009年度 実績	2010年度 実績
US\$	92.79円	85.57円
Euro	131.12円	113.45円
元	13.70円	12.94円



2011年度 連結業績予想



2011年度 連結業績予想概況

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度 業績予想	対前期 増減率
売上高	1,108.1	1,160.0	4.7%
営業利益	307.3	300.0	▲2.4%
経常利益	314.8	305.0	▲3.1%
当期純利益	213.3	205.0	▲3.9%
ROE	14.5%	12.6%	▲1.9pt

2011年度 業績予想のポイント

タプロス・ジクアス等新製品による成長

アジア・欧州事業による収益貢献

積極的な研究開発投資を実行



2011年度

売上高の増減要因(対前年同期比較)

**2010年度
実績売上高
1,108.1億円**

+51.8億円



**2011年度
予想売上高
1,160.0億円**

国内 +37.2億円

- + 医療用眼科薬 +29.7億円
- + 抗リウマチ +1.8億円
- + 一般用医薬 ▲0.6億円
- + 医療用機器 +4.8億円

海外 +14.6億円

- + 北米 +5.5億円
(うち為替 ▲0.4億円)
- + 欧州 +5.3億円
(うち為替 ▲0.3億円)
- + アジア +3.6億円
うち中国 +2.4億円
(うち為替 ▲1.3億円)
うち韓国 +0.4億円
(うち為替 ▲0.0億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲3.6億円
- + 角膜 +30.8億円
うちジクアス +25.5億円
- + 緑内障 +22.0億円
うちタプロス +17.2億円
うちコソプト +25.8億円
- + アレルギー ▲8.3億円

欧州

- + 医療用眼科薬 +9.4億円
うち西欧 +3.9億円
うち東欧 +5.6億円
うち北欧 ▲0.2億円
うちロシア +0.1億円

<為替レート>

	2010年度 実績	2011年度 予想
US\$	85.57円	82.00円
Euro	113.45円	113.00円
元	12.94円	12.50円



2011年度 連結業績予想

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度	
		業績予想	増減
売上高	1,108.1	1,160.0	51.8
売上原価 (対売上高比率)	344.3 31.1%	360.0 31.0%	15.6 ▲0.0 pt
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	324.1 29.3%	340.0 29.3%	15.8 0.1 pt
研究開発費 (対売上高比率)	132.2 11.9%	160.0 13.8%	27.7 1.9 pt
営業利益 (対売上高比率)	307.3 27.7%	300.0 25.9%	▲7.3 ▲1.9 pt
営業外損益	7.4	5.0	▲2.4
経常利益	314.8	305.0	▲9.8
特別損益	▲4.0	0.0	4.0
税引前当期純利益	310.7	305.0	▲5.7
法人税等	97.4	100.0	2.5
当期純利益	213.3	205.0	▲8.3
ROE	14.5%	12.6%	▲1.9pt

<為替レート>
 2010年度実績
 US\$ 85.57円
 Euro 113.45円
 中国元 12.94円
 2011年度予想
 US\$ 82.00円
 Euro 113.00円
 中国元 12.50円



2010年度下期および 2011年度 配当予想

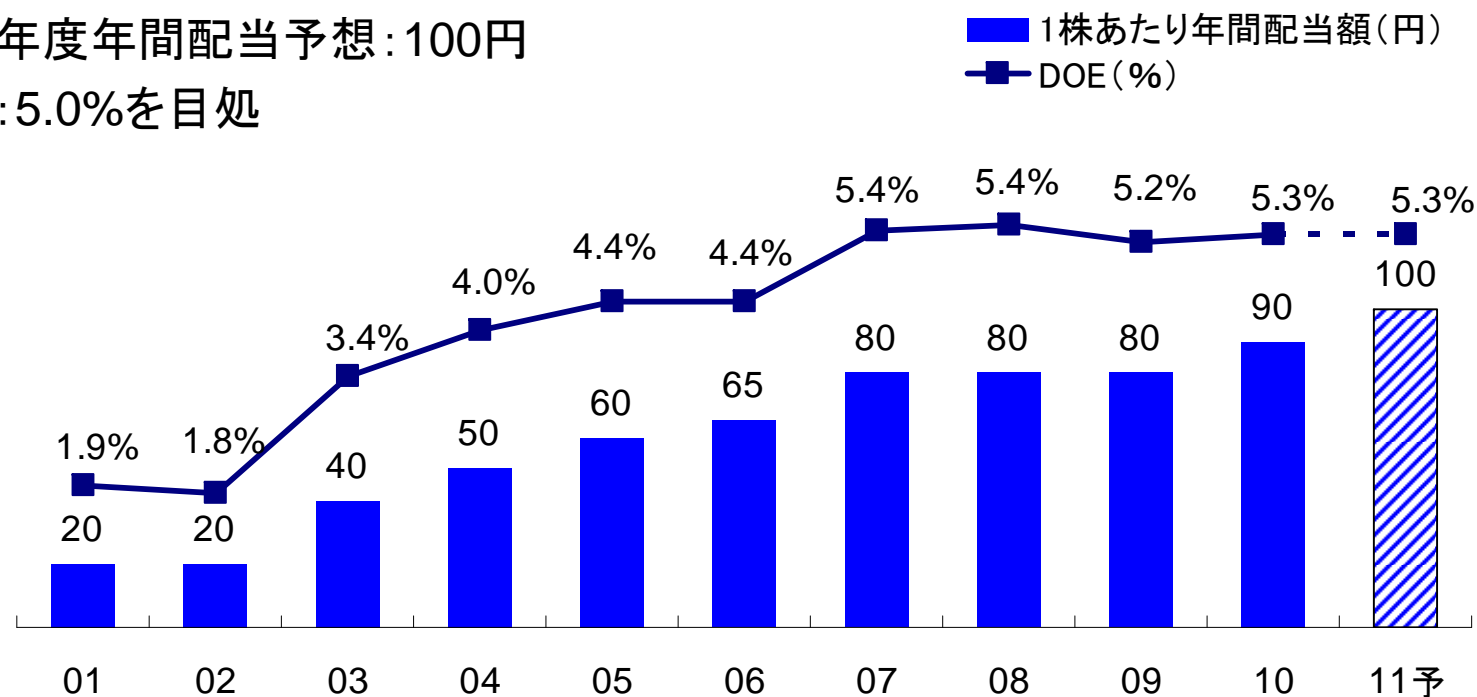
S 2010年度下期および2011年度配当予想

■ 2010年度

- 2010年度下期:10円増配し50円配当、年間配当は90円
- DOE:5.3%

■ 2011年度

- 2011年度年間配当予想:100円
- DOE:5.0%を目処



配当性向 (%)	34.9	21.4	55.8	39.7	39.9	42.9	54.7	67.2	36.4	36.7	41.7
自己株取得額 (億円)	32	32	0	26	0	0	48	0	0	0	-
総還元性向 (%)	96.4	59.5	55.8	63.3	39.9	42.9	85.8	67.2	36.4	36.7	-



参考資料
2010年度連結業績概要



ライセンス契約に基づく 一時金収入を控除した実績比較

一時金収入を除く実績

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度 実績	対前年同期 増減率
一時金収入を除く 売上高	1,047.5	1,083.7	+3.5%
一時金収入を除く 原価率	33.1%	31.8%	▲1.4pt
営業利益	238.0	283.0	18.9%
(対売上高比率)	22.7%	26.1%	+3.4pt

セグメント別売上高

(単位:億円)	2010年度 実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	910.4	2.8 %	175.2	▲ 14.3 %	1,085.7	▲ 0.4 %
医療用医薬品	863.3	3.6 %	175.1	▲ 14.3 %	1,038.5	0.0 %
眼科薬	755.8	4.0 %	152.1	7.1 %	907.9	4.5 %
抗リウマチ薬	97.2	▲ 0.5 %	1.0	▲ 21.1 %	98.3	▲ 0.7 %
その他医薬品	10.2	9.3 %	22.0	▲ 63.9 %	32.2	▲ 54.2 %
一般用医薬品	47.1	▲ 9.9 %	0.0	▲ 55.9 %	47.2	▲ 10.1 %
その他	15.0	53.2 %	7.3	31.9 %	22.3	45.5 %
医療機器	14.9	54.6 %	7.3	31.9 %	22.2	46.3 %
その他	0.1	▲ 30.8 %	—	—	0.1	▲ 30.8 %
合計	925.4	3.3 %	182.6	▲ 13.1 %	1,108.1	0.2 %



海外売上高

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度 実績		
		実績	増減額	対前年同期 増減率
北米	67.1	30.6	▲ 36.4	▲ 54.3 %
欧州	87.1	85.1	▲ 1.9	▲ 2.3 %
アジア	55.7	66.6	10.9	19.6 %
その他	0.0	0.0	0.0	110.3 %
合計	210.0	182.6	▲ 27.4	▲ 13.1 %



貸借対照表

(単位:億円)	2010年3月末		2011年3月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,188.3	71.2%	1,376.6	74.5%	188.3
固定資産	480.4	28.8%	471.3	25.5%	▲9.1
繰延資産	-	-	-	-	-
資産合計	1,668.7	100.0%	1,848.0	100.0%	179.2
流動負債	252.8	15.2%	241.0	13.0%	▲11.8
固定負債	39.8	2.4%	42.9	2.3%	3.0
負債合計	292.7	17.5%	283.9	15.4%	▲8.7
純資産合計	1,376.0	82.5%	1,564.0	84.6%*	188.0
負債純資産合計	1,668.7	100.0%	1,848.0	100.0%	179.2

【主要変動科目】

- 流動資産：現金及び預金 +88億円、受取手形・売掛金+37億円、有価証券+43億円、商品及び製品+5億円、繰延税金資産▲1億円
- 固定資産：建物及び構築物▲11億円、機械装置及び運搬具▲3億円、土地▲2億円、ソフトウェア▲2億円
- 流動負債：支払手形及び買掛金+4億円、短期借入金▲5億円、未払金+5億円、未払法人税等 ▲19億円
- 純資産：利益剰余金 +145億円、その他有価証券評価差額金 ▲5億円、為替換算調整勘定 ▲9億円

キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2010年度 実績
現金等期首残高	643.4
現金等 増減額	81.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	177.6
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 76.7
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 15.7
現金等に係る換算差額	▲ 3.8
現金等期末残高	724.8

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度	
		実績	増減額
設備投資額	12.2	17.0	4.8
減価償却費	32.0	28.0	▲ 3.9
リース料	5.2	1.5	▲ 3.7



参考資料
2011年度通期連結業績予想



連結業績予想中期比較

(単位: 億円)	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 業績予想
売上高	1,033.9	1,016.1	1,105.9	1,108.1	1,160.0
営業利益	203.7	154.9	296.4	307.3	300.0
経常利益	207.0	159.3	298.6	314.8	305.0
当期純利益	126.5	101.2	187.2	213.3	205.0
ROE	9.9%	8.0%	14.3%	14.5%	12.6%

セグメント別売上高予想

(単位:億円)	2011年度 予想					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	942.8	3.6 %	190.7	8.8 %	1,133.5	4.4 %
医療用医薬品	896.4	3.8 %	190.5	8.8 %	1,086.9	4.7 %
眼科薬	785.6	3.9 %	163.1	7.3 %	948.8	4.5 %
抗リウマチ薬	99.1	1.9 %	1.0	▲ 3.5 %	100.1	1.8 %
その他医薬品	11.6	13.9 %	26.3	19.9%	38.0	18.0 %
一般用医薬品	46.4	▲ 1.5 %	0.1	36.0 %	46.5	▲ 1.4 %
その他	19.8	32.3 %	6.5	▲ 10.7 %	26.4	18.2 %
医療機器	19.7	32.6 %	6.5	▲ 10.7 %	26.3	18.3 %
その他	0.1	▲ 6.5 %	—	—	0.1	▲ 6.5 %
合計	962.7	4.0%	197.2	8.0 %	1,160.0	4.7 %

海外売上高予想

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度		
		予想	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	30.6	36.2	5.5	18.2%
欧州	85.1	90.5	5.3	6.3%
アジア	66.6	70.2	3.6	5.4%
その他	0.0	0.1	0.0	60.0%
合計	182.6	197.2	14.6	8.0%



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度	
		予想	対前期 増減額
設備投資額	17.0	62.1	45.0
減価償却費	28.0	29.5	1.4
リース料	1.5	1.6	0.0



参考資料

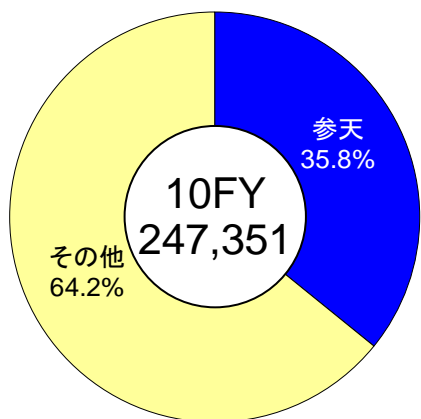
国内医療用眼科薬市場概況

S 国内医療用眼科薬：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科計：10FYの市場規模は対前年+5.3%。網膜領域、アレルギー領域が市場を牽引。参天シェア35.8%
- ・緑内障：市場は対前年+1.8%と微増。参天はタプロスとコソプトが寄与し対前年+13.5%と伸長、参天シェア25.7%
- ・角膜：市場は対前年+1.0%と微増。後発品が伸長する中、ヒアレイン、ジクアスを中心に参天シェア76.0%確保

市場規模：百万円
%：金額ベース

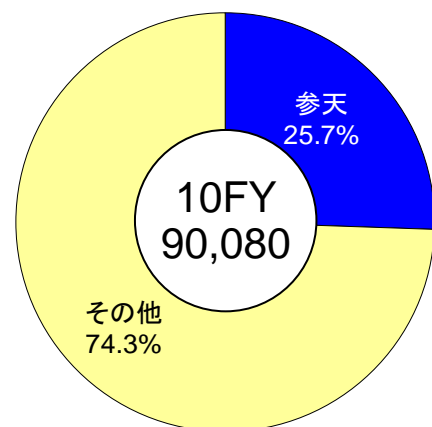
眼科薬計



09FY 10FY

(金額) 前年比	市場	+3.5%	+5.3%
	参天	+1.7%	+1.0%
参天シェア		37.3%	35.8%

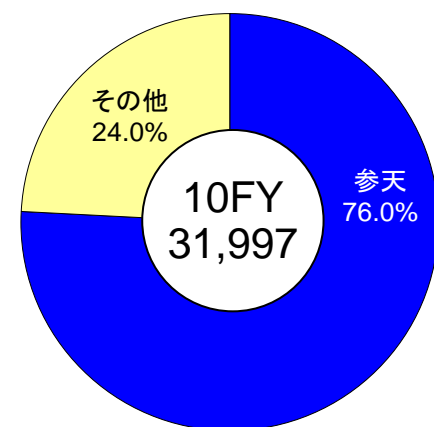
抗緑内障剤



09FY 10FY

市場	+4.1%	+1.8%
参天	+18.4%	+13.5%
参天シェア	23.0%	25.7%

角膜疾患治療剤



09FY 10FY

市場	+3.9%	+1.0%
参天	+3.0%	-0.5%
参天シェア	77.1%	76.0%

- 主な参天製品：
 - ・抗緑内障剤：タプロス、コソプト、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
 - ・角膜疾患治療剤：ヒアレイン、ジクアス

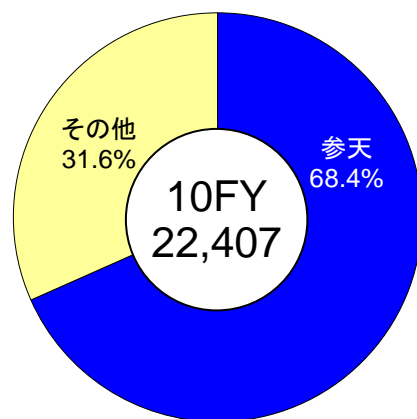
出典：©2011 IMS Japan
IMS-JPM 2008-11を基に参天分析
無断転載禁止

S 国内医療用眼科薬：市場概況（抗菌・アレルギー）

- ・抗菌：10FYの市場規模は対前年-1.0%と微減。参天はクラビットを中心にシェア68.4%確保
- ・抗アレルギー：10FYの市場は対前年+22.3%と拡大。参天はシェア16.7%で、競合品の伸長傾向が続く

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

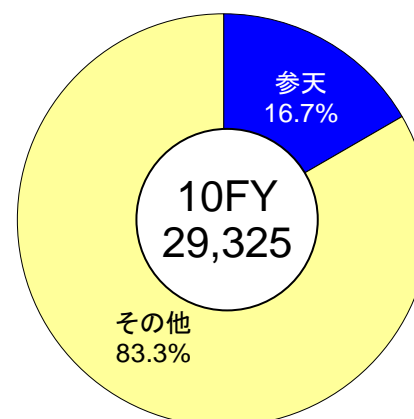
抗菌点眼剤



09FY 10FY

(金額) 前年比	市場	-4.4%	-1.0%
	参天	-5.6%	-3.3%
参天シェア		70.0%	68.4%

抗アレルギー剤



09FY 10FY

	市場	-15.0%	+22.3%
	参天	-19.7%	+2.9%
	参天シェア	19.8%	16.7%

-主な参天製品:
・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
・抗アレルギー剤: リボスチン、アレキサール

出典: ©2011 IMS Japan
IMS-JPM 2008-110を基に参天分析
無断転載禁止



参天製薬株式会社

2010年度 決算説明会

新製品開発の現状

2011年5月11日

取締役 専務執行役員 研究開発本部長

西畑 利明



主要臨床プロジェクト状況一覧 (赤字下線: 10FY3Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
緑内障		DE-112 アデノシンA _{2A}		DE-111 タフルプロスト/チモロール マレイン酸塩配合剤 欧州 日本	DE-085 タフルプロスト 中国 米国 日本・アジア 欧州・ラテンアメリカ
		DE-090 ロメリジン塩酸塩			
角膜疾患		DE-101 米国 リボグリタゾン 日本	DE-089 ジクアホソルナトリウム 中国 韓国 (発売)日本		
		DE-105 ペプチド組合せ剤			
		DE-110 SEGRA			
網膜疾患		DE-102 ステロイドDDS	DE-109 シロリムス		
その他 感染症・アレルギー・RA		DE-098 抗APO-1抗体	DE-114 エピナスチン塩酸塩		DE-108 高濃度レボフロキサシ

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-085 緑内障・高眼圧症

販売名：参天「タプロス」「TAFLOTAN」、米メルク社*「SAFLUTAN」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
日本	発売	発売	一般名： タフルプロスト 【発売開始】 日本：2008年12月 欧州：2008年6月 アジア：2010年3月 ラテンアメリカ：2010年8月
欧州**	発売27カ国／承認30カ国 米メルク社*に一部導出	発売25カ国／承認29カ国 米メルク社*に一部導出	
アジア	発売2カ国／承認4カ国 中国：承認申請中	発売2カ国／承認4カ国 中国：承認申請中	
米国他	米メルク社*に導出 発売4カ国／承認6カ国 米国：承認申請中	米メルク社*に導出 発売／承認4カ国	

【発売国】世界合計:34カ国 (今回2カ国追加: 下線)

- ・参天：日本、アジア2カ国 (香港、韓国)、欧州20カ国 (ドイツ、フィンランド他18カ国、カザフスタン、トルクメニスタン)
- ・米メルク社*：欧州7カ国 (イギリス、スペイン、オランダ、イタリア、ポルトガル、オーストリア、スイス)、ラテンアメリカ4カ国 (バハマ他)

【承認国】世界合計:41カ国 (今回3カ国追加: グアテマラ、コロンビア、トルクメニスタン)

*米メルク社への販売権導出(2009年4月)：許諾地域はドイツを除く西欧、北米、南米、アフリカ

**CIS諸国を含む

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
日本	発売	発売 (2010年12月)	一般名： ジクアホソルナトリウム
アジア	中国：P3 韓国：承認申請中	中国：P3	

主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
日本	P3	P3準備中	一般名： タフルプロスト／チモロー ルマレイン酸塩(配合剤)
欧州	P3	P3	

■DE-112

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
米国	P1/2a	P1/2a	アデノシンA _{2A} 受容体作動薬



主要臨床プロジェクトの現状 – 角膜疾患 –

■DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
米国	P1/2*	P1/2*	一般名:リボグリタゾン
日本	P2b	P2b	

*高用量製剤を追加したパイロットP2b試験

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
米国	P2準備中	P2準備中	ペプチド組合せ剤
日本	P2	P2	

■DE-110 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
米国	P2	P2	選択的グルココルチコイド受容体作動薬(SEGRA)

S 主要臨床プロジェクトの現状 —網膜疾患—

■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
日本	P1/2	P1/2	ステロイドDDS

■DE-109*

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
日本	P1/2終了	P1/2	一般名:シロリムス
米国	P3	—	

*対象疾患:

- ・日本: 滲出型加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫
- ・米国: ぶどう膜炎

主要臨床プロジェクトの現状 –その他–

■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
日本	製造販売承認 取得	製造販売承認 取得	一般名： レボフロキサシン(1.5%)

■DE-114 アレルギー性結膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
日本	P3	—	一般名： エピナスチン塩酸塩

■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/8発表時)	
日本	P2	P2	抗APO-1抗体



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。